

検討の経緯

1 現本庁舎の現状と課題

(1) 耐震性能と災害対策

現在の本庁舎は、平成 9 年に実施した耐震診断の結果、大規模地震時に倒壊する危険性が高いことが判明しているだけでなく、洪水及び浸水（内水）ハザードマップ上でも 0.5m 未満の浸水可能性があり、地下にある設備機械への浸水対策など業務継続の課題を抱えています。

また、災害対策本部は耐震性のある建物に置く必要性から、本庁舎に隣接する保健福祉会館に設置しており、防災拠点機能の連携などの課題も抱えています。

(2) 施設・設備の老朽化

築 50 年余が経過している本庁舎は、施設・設備の老朽化が進んでいるだけでなく、構造上の制約からユニバーサルデザインやバリアフリーへの対応が不十分な状況です。

(3) 分散化と狭隘化

本庁機能と北区役所機能は、本庁舎、分庁舎、保健福祉会館、民間ビルに分散しており、来庁者にとってわかりづらく不便であることや、執務室や供用スペースが狭隘化しており、市民対応スペースが十分に取れておらず、各種相談時のプライバシーや業務上のセキュリティ確保などが課題となっています。

(4) 駐車場の課題

市民アンケートにおいて、最も改善要望が高かった項目が駐車場についてであり、現在の鹿田町駐車場の入口が周辺道路の一方通行などで、わかりづらいことに加え、狭くて停めにくく、庁舎までアクセスしづらいなどの課題も抱えており、改善が求められています。

2 これまでの本庁舎耐震化検討経緯について

① 現本庁舎の耐震診断の実施（平成 9 年）

② 耐震改修の各工法の比較検討（平成 20 年）

③ 耐震改修と建替えとの比較検討（平成 25 年）

④ 事業手法の比較検討（平成 26 年）

3 岡山市本庁舎整備等基本構想について

(1) 基本構想の検討経緯

・本庁舎耐震化等の検討結果を踏まえ、「岡山市本庁舎整備等基本構想」策定に向けた検討を実施。

① 市民アンケート（平成 30 年 6 月～7 月）

- ・市内在住の 18 歳以上の男女 3, 000 人を無作為抽出し、郵送により配布・回収。
- ・調査内容：本庁舎への来庁目的、利用して不便に感じたこと、整備に必要な視点は何かなど。

② 職員アンケート及び庁内ワーキンググループ（平成 30 年 5 月～7 月）

- ・現庁舎の課題抽出や市民サービスや業務効率等の向上のための改善点を整理。

③ 第 1 回岡山市本庁舎整備検討会（平成 30 年 8 月）

- ・本庁舎の現状と課題、目指すべき庁舎像、備えるべき機能・性能について意見聴取。

④ 市長記者会見（平成 30 年 10 月）

- ・耐震改修と、分散している本庁機能を一部集約する建替 A 案、機能をすべて集約する建替 B 案を比較し、建替 B 案で検討を進めていきたい旨を発表。

⑤ 第 2 回岡山市本庁舎整備検討会（平成 30 年 10 月）

- ・新庁舎の想定規模と改修案と建替案の比較について意見聴取。
- ・ライフサイクルコストも含めた総合的な観点から建替 B 案での整備が望ましいと報告。

⑥ 岡山市議会総務委員会（平成 30 年 11 月）

- ・目指すべき庁舎像や改修案と建替案の比較について報告。

⑦ 第 3 回岡山市本庁舎整備検討会（平成 31 年 2 月）

- ・建設候補地と事業手法について意見聴取。
- ・大供公園・鹿田町駐車場敷地と従来方式が望ましいと報告。

⑧ 岡山市議会総務委員会（平成 31 年 2 月）

- ・岡山市本庁舎整備等基本構想（素案）について報告。

⑨ 岡山市本庁舎整備等基本構想(素案) へのご意見募集(パブリックコメント)を実施 (平成 31 年 2 月～3 月)

⑩ 岡山市本庁舎整備等基本構想策定（平成 31 年 3 月）

(2) 基本構想のまとめ

本庁舎の耐震化手法

- 改修案と二つの建替案を比較
- ユニバーサルデザイン、市民交流の場の創出、窓口の分散化解消や事務の効率化、維持管理費も含めたライフサイクルコストの比較などから、総合的に評価を実施

本庁機能・北区役所機能を全て集約して、建替えにより整備する。

建設候補地の検討

- 現庁舎敷地：仮設庁舎が必要となり、経済性・来庁者利便性が劣る。
- 貯金事務センター跡地：容積率の制限から想定規模の庁舎は建設不可。
- 大供公園・鹿田町駐車場：公園・広場のオープンスペースの一体活用、市役所筋からのシンボル性や周辺まちづくりへの活性化、防災拠点性の向上などの相乗効果が期待できる。

新庁舎は「大供公園・鹿田町駐車場」敷地に整備する。

事業手法

- 官民連携（PPP・PFI）手法と設計・施工分離分割による従来方式を比較
PPP・PFI 手法を活用した事業費の削減額と交付税措置のある地方債を活用した従来方式の場合の財政軽減効果を比較。

従来方式により整備する。

庁舎整備の基本理念と機能・性能

1 市民に親しまれるおもてなしのある庁舎

～ユニバーサルデザイン、市民交流の場の創出

2 安全・安心、災害に強い庁舎

～防災拠点の整備

3 将来の変化に対応できる機能的・効率的な庁舎

～行政サービスの向上と事務の効率化

4 自治体の顔・まちづくりの拠点となる庁舎

5 環境に配慮した庁舎

市民窓口機能／交流・協働機能／
防災拠点機能／執務機能／
議会機能／まちづくり・周辺施設

庁舎に求められる共通性能
耐震性・安全性／ユニバーサルデザイン／
経済性／環境負荷低減